

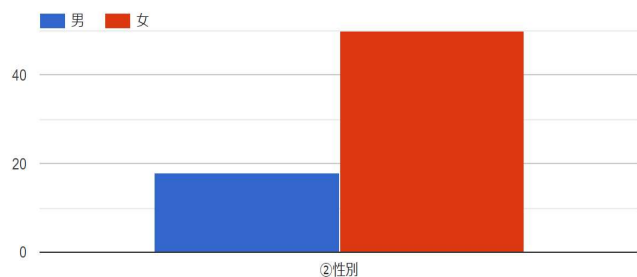
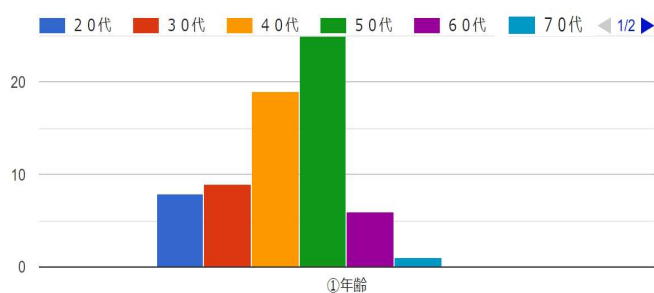


# 令和2年度 第1回医療・介護合同研修会「楽しい結びの会」 参加者アンケート

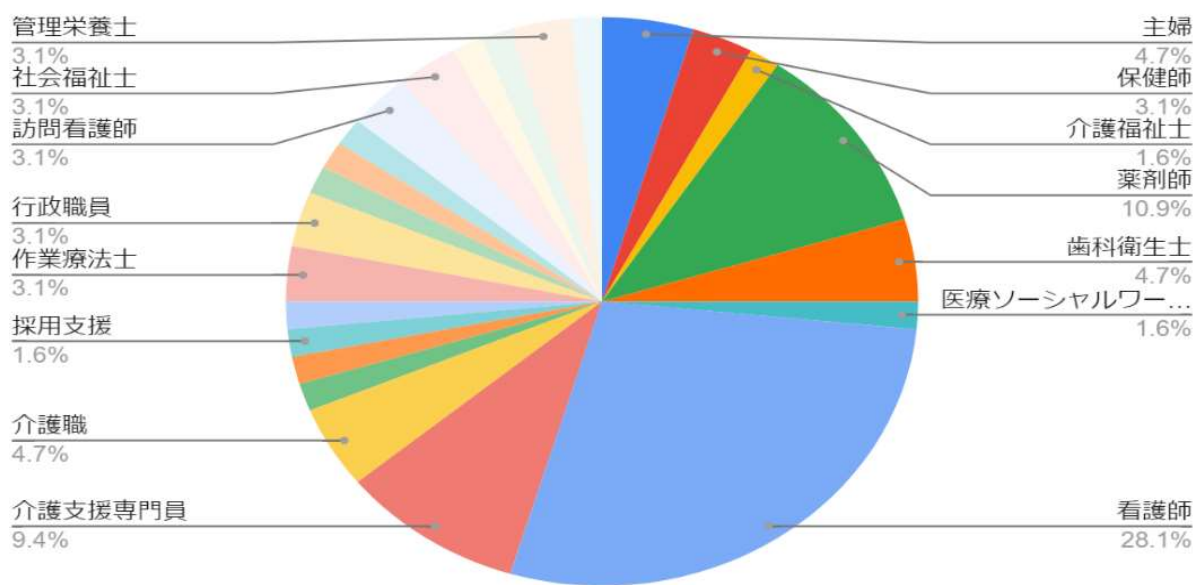
68件の回答

[分析を公開](#)

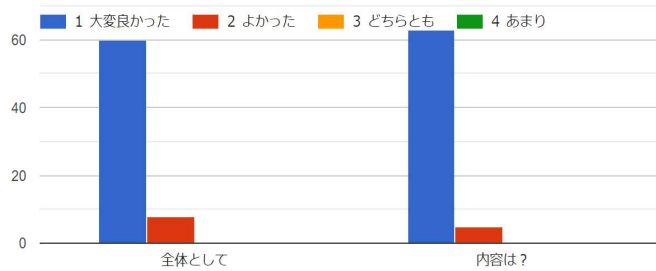
## 1. あなた個人についてうかがいます



## 「③職業」のカウント数

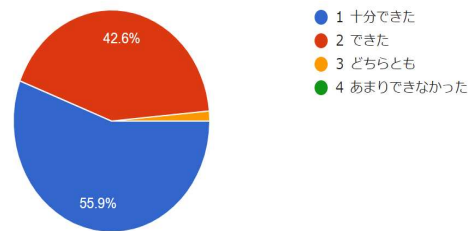


## 2 「Zoomによるオンライン研修会」について



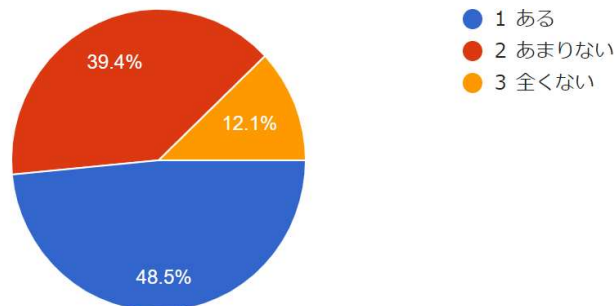
## 3 今回の研修をとおして「理想の最期」について考えることはできましたか

68 件の回答



## 4 日常の中で「終末期について」関係他者と情報交換をする機会がありますか

66 件の回答



上記質問で「1 ある」と回答された方は具体的にお書きください

31 件の回答

職場内でディスカッション

訪問看護のACPの場面で

訪問介護で、終末期に関わる時など

在宅で終末期を過ごされておられる方の支援において

病院で緩和ケアチームに携わっています

介護支援専門員として、担当する利用者さんに関わる援助者の方々と。

仕事を通じて担当する利用者様の最期について

ALSの方の家族、医師、関係者と今まさにそのような話し合いがされています。

医療関係者仲間での勉強会にて

退院調整の場

日頃から、夫には延命のための胃ろう造設はしてほしくないことなどは話しています。

また、3月に夫の祖父がなくなりました。大腸が原発でいろいろ転移してしまい、延命はしないという本人の意思で最期を迎えました。

そして、祖父が亡くなり、四十九日を迎える前日に我が子が誕生しました。生きること、死ぬことについて、改めて考えさせられるとともに、家族でもそういった話をするようになりました。

緩和ケア病棟に勤務しています

夫婦

介護現場の採用をお手伝いさせてもらっているので、その中に終末期に関わる方もいらっしゃいます

いざという時に濃厚な治療を選択されるケース

家族や友達と話すことがある

職場がホスピスであること、家族に医療職が多いため話題になる

最期をどう過ごすのか両親とはよく話します。

終末期を考えること 話題とすること がどうやったらもっとありふれたもの あたりまえに身近にあるものとしていけるか 普及啓発の仕方

訪問看護師のため、職場のスタッフやご家族と情報交換します。

退院後の生活において、訪問看護だけで、充分なのか？患者を支える家族の支援はどうなのか？

地域に住む市民の方との最期・終活に関する考え方や捉え方について。

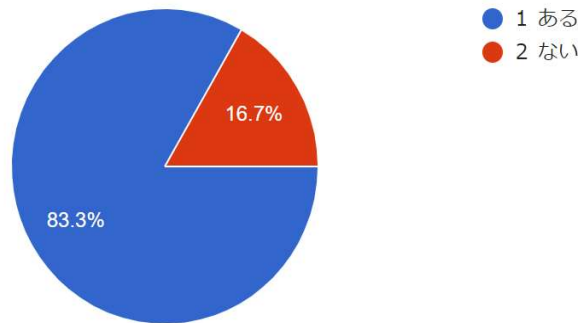
For Youの会、素敵です！！！！

その時に携わる度に、職場の仲間たちと話し合っています。

仕事として、日常的に看取りについての相談が必要なことが多い。

5 施設または在宅で最期を迎えるにあたり、課題となることがありますか

60 件の回答



上記質問で「1 ある」と回答されたかたは、具体的にお書きください

46 件の回答

在宅医療介護の認知度が低いこと

介護人がいること

痛みの緩和や気持ちの落ち込みなど、とても難しい。何もできない無力さに襲われてしまう。

夜中のサービスの不足

ACPがタイミングよくできていません

介護を支える資源が不足している。または、資源を探す横の繋がりが自分としては、不足していると感じている。

相談先がわからない。

ご本人、ご家族様の意向の違い



家族と関係事業所間、医療との意識統一の難しさ

現在夫婦二人暮らしで、子供たちも遠く身内が側におらず夫だけに負担をかける

望む場所での最期が本当に難しい

自分の家族の事を考えるとやはり在宅で最期を迎えられる事が一番の幸せで良い事だと思ふようになりました！在宅でお世話できる環境をこれから作っていきたいと思ひます。

本人の希望が十分に配慮されていない、もしくは本人が希望を言えない状況が多々あると思ふ。本人の希望、その人らしさとは何かを本人をはじめ家族・支援者が共有できる取り組みが必要だと思ふ。

患者の思いと施設のマンパワーなどの状況

利用者と家族間の溝があるケースが多く、孤独感や疎外感から、最期を幸せに迎えてもらうことがはなかなか難しく感じています。

本人の意思と家族の協力度により在宅療養にできないことがある

今の職場で働く前、12年半ほど、特養で働いており、多くの方の最期を見送ってきました。入所された時から、最期までできることを！という気持ちでいましたし、他のスタッフと気持ちなども共有しながら、前をむいて携わってきましたが、離れてみて、人が無くなることに慣れてしまっていたのではないかと、まさに死に顔ピースの演劇に出てきたような場面を思い出させるような心境になりました。本人、家族、そしてスタッフの心のケアや横の結びの作り方は、本当に課題だと感じます。

患者家族にアドバイスを送るとき

独居であったり、ご家族の支援が受けられないケースがある

大切な対話が上手にできていない気がする

今、自分の周りにそのような機会がなく、課題が思い当たりません。その場に近くなると（プライベートにしる仕事にしる）あるかもしれません。

症状コントロールがうまくできるか。介護者への気遣いなど。

障害のある子を残し最後を迎えること

マンパワー

医療者も家族も在宅に帰ることへのハードルがまだまだ高い。  
家族が仕事をしながらだと、在宅の選択肢があがることが少ないように感じます。

ご本人 ご家族が思いを十分に交わることができるか

信頼できる医師や在宅支援者との連携や家族の受け入れ

最期 = お別れ = 悲しいのイメージあります

在宅における家族への支援

告知当初は在宅でと本人、家族の意向は固まっても、日にちがたつと救急搬送に至ることが多くあります。病状が悪化傾向をみとどける事は難しいと思います。

親族の理解 まさにの介護者よりも  
もう少し広い範囲で普段から 本人の気持ちや介護者の気持ちがシェアできて 対話ができるようにしていきたい

家族の力を十分引き出すことができない

どんな風に過ごしたいか、聞いてはいても、実際は家でその人らしい生活より、生活が成り立つ事に気持ちが行っていると感じる時があります。

患者に寄り添った看護が出来ているのか？いつも疑問を持っています。

その方にとって、本当に良い看取りができたのか日々悩みます。

家族の介護力と、それを支えられる介護医療の体制。支援者自身ももっと終末期に対するケアを学ぶ必要がある。多職種チームケア等

本人がどんな考えをもち、それを、誰までと共有が出来るのか。したいのか。どう考えているか。その引き出し方も含め。

沢山ありすぎて、。。

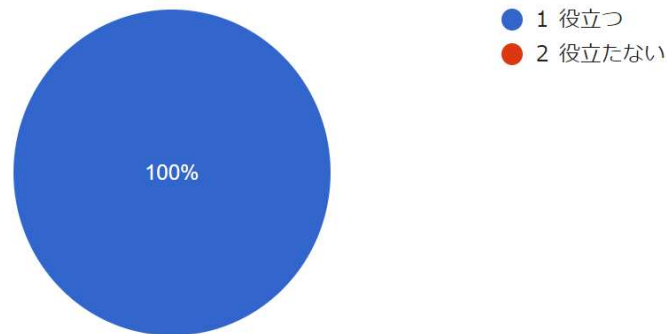
親族縁者の方々と最期を落ち着いて過ごせる場所（居室環境等）の整備

ご本人の希望が聞けないことが多く、ご家族との話し合いとなることが多いのですが、在宅や施設での看取りに不安があり協力が得られにくい。

## 6 今回の研修は、今後役に立ちますか



68 件の回答



## 7 その他、感想・自由意見等ありましたら、何でもお書きください

49 件の回答

最期は楽しんでいい。素敵です。理解ある仲間を増やし、実践できるようにしたいです。映画、きっと見に行きます。ありがとうございました。

仮装して訪問しようかなと思います。スキンシップも大切にしたい。クラウンさんに訪問してもらうのも良いですね。やまさん、お大事に。

看取りの方に元気を出して欲しいと笑顔でいたら、怒られた。寄り添う事って難しいです。  
今日はとても温かい会で元気をもらいました。  
yamaさんに出会い、良かった。

岡原先生！YAMAさん！とても心温まる研修でした。本当にありがとうございました。このご縁に感謝です。

とても素敵な講演会をありがとうございました。とても元気をもらい、自分のこと、親のことについても考えてみようと思いました。ありがとうございました。

YAMAさんのステキな生き方に感動しました。患者さんの心にハグしてその人らしい終わり方のお手伝いができるように頑張りたいです。

豊川市の在宅支援ね活動を支えているforyouの会の方々の熱意と行動力に、尊敬の念を感じます。

死への捉え方次第で、残りの余生の価値も大きく変えることが出来ると思いました。  
yamaさん、先生、素敵な時間をありがとうございました！  
ハグは日本の文化にはまだ根付いていませんが、これからどんどん広がっていったら  
日本はもっと明るくなる気がしました。

現在メンタル不調で、3ヶ月休職中ですが、とても元気をもらえました。岡原先生、  
yamaさんとハグできる日を信じ、前を向いて進もうとおもいます。  
ありがとうございました。  
明日から笑顔！

言葉でないけれど、その人を支えたい。手を握る、さするだけでも言いと言われた岡  
原先生の言葉が胸に響きました。

初めて参加しました。素敵な講演会でした。ありがとうございました。

現在ガン末期で余命も言われているが最期をどこでどうやって迎えるのか思案中。在  
宅で迎えたいと自分は思うけど、夫婦二人暮らしで夫の負担を考えると緩和病院にと  
思うが、いろいろ考えたら不安になる。でも今日の山さんを見て、笑って過ごせば少  
しは元気になれるかなと思えるようになった。山さんじゃないけど腹水がたまってき  
ているからどうなるか不安な毎日だけど、それでも笑っていけたらいいかと思って過  
ごそう

素敵な会にお声かけいただき本当にありがとうございました。色んな技術を駆使され  
てこの様な機会をつくってくださった関係者のみなさまへの尊敬と感謝の気持ちでい  
っぱいです。

また、自宅からこの様な会に気軽に参加できることも大変ありがたかったです。ま  
た、次回を楽しみにしております。岡原先生、やまさん本当にありがとうございました。

そして新庄さんの進行がとっても温かく素敵でした。憧れます♡ またお逢いできる日  
を楽しみにしております。

豊川市保健センター  
歯科衛生士 中村恵奈

新しい形の講演会とても良かったです。先生と、クラウンでありご自身もがんと診断  
されているという方々から貴重なお話を伺うことができ考えさせられることがたく  
さんありました。ありがとうございました。

いつか、この会のメンバーさんたちにお会いしたいです！！楽しい時間をありがとう  
ございました。

本当に貴重な体験となりました。自分だったらどうだろうなあー  
今後もFOR YOUの活動に期待しています。



とても刺激と元気をもらいました。  
映画見に行きます。  
ヤマさんの生パフォーマンスを、ぜひ豊川で見たいです。  
ありがとうございました。

コロナの時代、気持ちが暗くなりつつある今、やまちゃん的笑顔に逆に勇気をいっぱい頂きました！パフォーマンスにも感動しました！！ありがとうございました。

私は急性期病院でリハビリに従事していますが、数年前から地域支援にリハ専門職が関わる取り組みを行政とともに始めました。終末期とは若干異なりますが地域でその人らしい生活を支えるということの重要性をあらためて学びました。また、当事者のyamaさんのお話を聞かせていただき、少しでも私に関わる方々の心情を慮ることができるようになればと思います。ありがとうございました。

とても励まされる時間でした。このような研修に参加できることも、横の結びがあるからこそ！何をするにも繋がりも大切。感謝の気持ちを忘れずに、新しいつながりを作っていきたいです。

本日はお誘いいただき、本当にありがとうございました。自身の周りにも終末期を迎えている者がいるので、これからを考える良い機会になりました。引き続きよろしく願い申し上げます。

大変有意義な時間を過ごすことができました。自分に何ができるか真剣に考えてゆきたいと思います。

今回は、このような企画に参加させていただいて、本当にありがとうございました。今は急性期での仕事をしているので直近では「看取り」に触れることがあまりないのですが、以前施設勤務もしていたので潜在的に考えることもあったので、少し勉強になりました。これを機にもっと色々と学び（直し）たいとおもいます。岡原先生の「結び」について、もっと知りたい・感じたいと思いました。

YAMAさんのパフォーマンスを楽しませていただき、元気をいただきました。ひとつ心残りなのは、自分のPCにカメラがなく最中にエールが送れなかったことですが……。でもYAMAさん豊川ファンの会会員として常にエールを送り多と思います！

私も大好きな夫を13年前に癌で亡くしたため、患者・家族の揺れる思いがある程度理解できます。山さんにご家族には悔いのない人生を送ってほしいです。  
ありがとうございました。

子供が入院している時に何度かホスピタルクラウンに親子共々元気をもらったことを山さんを見て久しぶりに思い出しました。  
そして今日も親子で山さんから元気をもらいました！ありがとうございました。  
豊川市に是非来て！と子供が言っています！

ハグは大事だと改めて思いました。今日から沢山ハグしたいと思います！

FOR YOUの会さんにお誘いいただくものは、いつも心温まります！ありがとうございました。

yamaさんの咳が出たり、痩せたり、食事がというふとした瞬間に気分が沈むという生の声が聞けたことが貴重な体験でした。入院中の患者さんにも、そういう状況にあるかもしれないと意識して接したいです。

主催して頂いた皆さん本当にありがとうございました。岡原先生クラウンやまさんの生き方に感動し自分自身の生き方や役割 使命を再確認させていただきました。最後に皆さんに心からハグ👉👉👉素敵な時間の共有をありがとうございました😊

YAMAさんのパフォーマンス素敵。人を笑わせるって大切。

訪問時には利用者に笑ってもらいたいと、実行しています。間違いではないこと実感しました。ありがとうございました。

山さん元気をもらいました、ありがとうございます

ハグはすぐにはできないけれど、車椅子移動の時に、これってハグですね！と言ってみます。えみママえみさんの歌やビデオのちよる君のお母さんのように、子供から自分の役割をしっかりとやれたと思えるメッセージを受け取ることは最後の時を迎える力になると思いました。ありがとうございました。

やまさんありがとう！

知る事、思いやる事・・・

やまさん、先生のお話を聞いて、次の支援のヒントをもらいました。また、自分も相手に笑顔になって頂けるように接していきたいと思います。

ズームの研修会ということで、どのような形になるのだろうかワクワクドキドキしていました。

司会の切り回しがとても軽快で良かったです。

私は軽度の方の担当なので、終末期の方の対応の機会は多くありませんが、そういう立場の方でなくても、こんな自分でも会ってクスリと笑ってもらえたら嬉しいなと思っています。

逆に元気をもらうことも多いのですけどね。

『家族が元気で』の言葉に、はっとさせられました。  
またお話し伺えたら嬉しく思います。

本日はありがとうございました。

自分の仕事だけではなく、自分や家族の人生や最期について考えることができました。  
Yamaさんに感謝です。

岡原先生、山さん本当にありがとうございました。  
また豊川市をはじめ全国にまたぐ繋がりのお機会をつくっていただいた新城さん他、関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

紹介して下さった佐竹先生、どうもありがとうございました！

YAMAさん、うれしかったらうな！ 本当に素敵なYAMAさんファンクラブ結成会でした。

このようなめぐり合わせに出会えて本当に良かったです、ありがとうございました！

今日は参加できて本当に良かったと思います。ヤマさんの生の声を聴くことができ、ご自分の生について前向きな姿勢であることを知り感銘しました。応援していきたいと思いました。